

## 第4回 ぐんまの中小企業と若者の交流会 Report

☆11月28日(月)13:00~16:00 株式会社キンセイ産業 会議室および工場  
☆参加企業 株式会社キンセイ産業 3人 若者参加者 11人

### 交流会の流れ

当日、出席していただいた経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 産業人材政策課 舟崎潤子係長及び(株)ワークエントリー 加藤尚 代表取締役のお二人から御挨拶をいただき、その後、企業側参加者と交流会スタッフが自己紹介。続いて、(株)キンセイ産業の金井隆さん(営業本部営業部部長)、柴山智広さん(技術部設計課部長代理)、矢野公一さん(開発企画部部長代理)からメッセージをいただいた。その後、休憩を兼ね全員で工場見学。再開後、急遽、参加をいただいた(株)キンセイ産業の金子正元社長から御挨拶の後、社長と若者との意見交換会が行われた。社長退席後、企業側参加者と若者の意見交換を行い、最後に、企業側の3人の方々と、直接・個別に意見交換を行うフリータイムを設けた。

### 企業側からのメッセージ

#### <金井さん>

キンセイ産業の概要についてパワーポイントにより説明。「大学が文系であったため理系知識を必要とする現在の業務に苦労した。現場を知らなければ営業はできない。そして、何よりもお客さまとの信頼づくりが重要。そのためには、お客さま以上の知識が必要。また、断られてからが本当の営業だと思っており、決してあきらめず、営業が会社を背負っているという気持ちで取り組んでいる。」と発言

#### <柴山さん>

会社の主力製品である乾溜装置システムについてパワーポイントにより説明。「設計は、プロジェクトの全てに関わることから大きな達成感がある。そのため自ら勉強するとともに、仕事の切れ目で次の準備をすることを心掛けている。準備が結果に出てくるから。個人の成果は、会社の成果につながる。しかし、一人ではできないが、(社員数が多くないことから)社員全員を知っていることが強みである。」と発言

#### <矢野さん>

製造部門、営業部門を経験後、現在の開発企画部に配属となった経緯と顧客の声から開発した「気流乾燥装置」についての体験を説明。「開発した製品の<テスト機>は、多くの課題が残っていた、製品化に向けて課題を克服し、成功したときの喜びは大きい。顧客の声を形にするのが開発担当であるが、入社してから(化学専攻だったため)相当勉強した。専門外のことでチャレンジしており、そのことも楽しい。共同研究、産学官連携も行っているほか、展示会、社のホームページ作成業務も担当している。」と発言

## 工場見学後の意見交換会

### <金子社長の発言要旨>

- ・こうなりたいと思っても、なかなか実現できない。明日どうなるかも分からず、なるようにしかならない。何事にも正直に向かって対応するのが一番である
- ・与えられることを待っているのではなく、取りにいかなければならない
- ・ピンチが先で、チャンスは後である。「あせり」、「あわてる」でなく「急ぐ」は必要
- ・親孝行をしてください。私は、お金が必要なとき、多くの人が「お前の親父には、世話になった。」と、借用書もとらずに、資金を貸してくれた。今、あるのも親のおかげである

### <意見交換会>

- ・自分の専攻と異なった分野の知識が、企業で必要とされる場合の対応について  
→企業側は、「企業に入った場合、自分の専攻分野で学んだ知識だけでは、ほとんど役に立たない。当社では3ヶ月の社内研修があるが、後は自分で勉強。分からないことがあれば、分かるところまで戻って勉強する。」と、言及
- ・入社後の企業の印象について  
→企業側は、社員に責任を持たせてくれる会社で、社長が製品についての知識が一番詳しい（追い抜きたい気持ちを持っている。）。以前、取引先とトラブルになったとき、みんなでその対応策を協議していたら、社長から「トラブルが生じた原因を、先ず考える。」と指摘されたことを披露
- ・10年後の自分をどう考えているかについて  
→企業側の出席者の全員が、「現在の上司にとってかわれるだけの知識を身につけたい、そのための努力をしていきたい。」と、強調

### 企業側出席者からの若者への一言

<金井さん> あきらめないこと      <柴山さん> やる気      <矢野さん> 体力

### アンケートから見た若者の反応

- ・参加者が、ほぼ満足した様子が窺える。また、急遽、出席していただいた金子社長の話が、若者に極めて強いインパクトを与えたように感じる
- ・熱いメッセージを若者に届けてくれた社長や社員の方々の話を聞き、企業で働くということの意義、心構えを改めて認識するとともに、群馬県内にも極めて高い技術力を有する中小企業が存在するということが理解でき、今後の就職活動に際し、大変参考になった様子が窺える

### 企業側の反応

- ・働く上での考え方、会社に属する立場からの苦労や喜び等、若者に伝えて何かを感じて欲しいと話をさせていただいたが、どこまで伝わって理解してもらえたか、少々不安な部分がある
- ・相手へ話すだけでなく、「伝える」ことの難しさを認識することができ、大変貴重な機会

であったと感じた。今後のプレゼン等にも活かしていきたい

- ・今回、就職希望の若者、同年代の人たちの考え、苦悩を垣間見ることができ、自分たちのときとの状況の違い、立場の違いでの心構えなどを知ることができた
- ・いろいろと話を聞き、まだまだ自分の考えや自分がどうなりたいか等がまとまっていな  
いように感じた。じっくり考えることも必要だと思うが、自分自身で覚悟を決めて、行  
動に移すということを念頭に置いて欲しい

### コーディネーターの所感

今回の交流会は、初めて企業で開催したが、工場見学とともに、社長にも出席いただき  
充実した内容のものとなった。

- ・県内には高い技術力を有し、世界に進出している中小企業（とりわけ、エコ・環境分野  
で）があるということ、若者に知ってもらい、今後の就職活動に活かして欲しいとの  
思いがあったが、概ね、上記のねらいは実現できたと思っている
- ・それは開催場所の提供とともに、社長自らの交流会への出席など、企業側の熱意あふれ  
る全面的な協力のおかげであると感じている。また、企業側出席者全員が強調していた  
「自己努力」、「やる気」、「あきらめるな」というキーワードは、若者の胸に強く響いた  
ものと実感している
- ・反省点は、若者側の真の悩みを踏まえた意見交換（こうした合同の交流会では、難しい  
面もあるだろうし、そのためにも個別に対応できるフリータイムを設けているのだが）  
が、十分、できたのだろうかという点である
- ・最後に、「会社の経営に当たって、重要なのは、まずやる気。そしてどんな苦しいとき  
でも辞めずに続けてきた。覚悟が決めれば道が見える。一生懸命やれば、一生懸命の人  
が寄ってくる。」と語った金子社長の言葉が、強く心に残った

### <会社プロフィール>

**株式会社キンセイ産業** 1967年創業。1971年「株式会社キンセイ産業」へ社名  
変更。焼却装置・熱エネルギープラントの設計・開発・製造・施工・メンテナンスまでを  
一貫して行うメーカー。特に、産業廃棄物をガス化させて燃焼処理する「乾溜ガス化発電  
装置」を独自技術で開発し、内外から高い評価を受けている。1985年以降、韓国、中  
国、アメリカ、インド等へグローバルな営業活動を展開している。

第4回 ぐんまの中小企業と若者の交流会の様子



金井さんからのメッセージ



柴山さんからのメッセージ



矢野さんからのメッセージ



金子社長からのメッセージ



工場見学



意見交換会